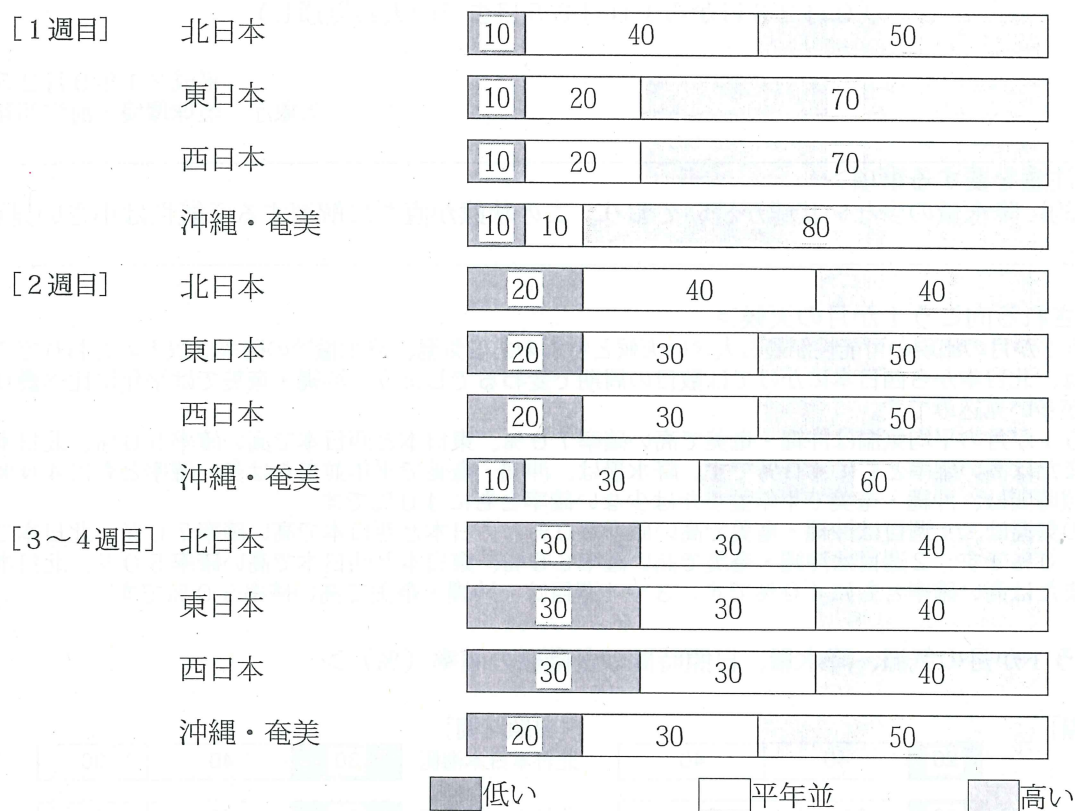


<気温経過の各階級の確率（％）>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月26日(土)～10月25日(日)  
 1週目 : 9月26日(土)～10月2日(金)  
 2週目 : 10月3日(土)～10月9日(金)  
 3～4週目 : 10月10日(土)～10月23日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月2日  
 3か月予報：10月22日(木) 14時

<参考資料（平年並の範囲）>

(1) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)		降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
北日本	-0.4～+0.3	日本海側	91～109	94～106
		太平洋側	78～107	95～105
東日本	-0.5～+0.1	日本海側	79～115	94～106
		太平洋側	75～111	92～106
西日本	-0.3～+0.3	日本海側	71～121	95～105
		太平洋側	75～103	94～107
沖縄・奄美	-0.3～+0.2		63～108	94～105

(2) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
北日本	-0.5～+0.5	-0.5～+0.5	-0.5～+0.3
東日本	-0.5～+0.4	-0.6～+0.4	-0.5～+0.3
西日本	-0.4～+0.4	-0.6～+0.4	-0.4～+0.4
沖縄・奄美	-0.2～+0.3	-0.2～+0.3	-0.4～+0.2

<参考資料（利用上の注意）>

(1) 気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。